

I 「腰には真理の帯を締め」：14。

1. 悪魔の性質＝偽り。
2. 悪魔の嫌うもの＝真理。

私達が、悪魔の偽りに惑わされずに、真理（主ご自身・主の御言葉の真理）に立つ事が悪魔への勝利の秘訣！

3. それ故に、真理（新旧約聖書 66 巻の御言葉の真理）の帯を締めよう。武装の基礎。

II 「胸には正義（原語：ディカイオスネー、義、正義、公正、公平、信仰により神から与えられる義）の胸当て（内臓、心臓や肺等、大切な部分を保護する）を着け」：14。

1. 悪魔の性質＝不義、神と正しい関係の逆で「敵対者（ヘブル語でサタンの意）」、兄弟（キリスト者）達の告発者（黙示録12：10）。

悪魔は、私達が自分の罪を神に告白し神に赦された後も、「おまえなんか失格者で赦されていない！」としつつこく訴える、責める、落ち込ませる。

悪魔の原語：中傷者、ざん訴（偽って他人を訴える、陰口）者。

※私達が、神に罪を告白した後も、自分を責め続けたり、人を中傷し陰口、悪口を言う時、気づかないうちに悪魔に用いられている。気を付けて日々祈りたい→主の祈り＝「悪（悪魔）からお救いください」と。

2. 悪魔の嫌うもの＝神の義、正しさ、神の目に正しい正義。

3. それ故に神の義、正義の胸当てを着けよう。

i まず、私達の罪の身代わりに刑罰を受けるため十字架で死なれた主を信じる信仰によって神の前に義と認められる義が重要！

「神に義と認められる」とは＝「私達が自分の罪の為に永遠の滅びに定められている中で、その定めがくつがえらされて、無罪の宣告を受け、神と正しい関係に入れられ、恐れることなく、神を呼ぶ者とされることを表すことば」（「救いについて」舟喜著）。

ii 悪魔は、罪と弱さのある私達を攻撃する→「それでも、おまえは、クリスチャンか？」と。

その時、私達は、自分の正しさ、正義では、太刀打ちできない。私達は、完全ではない。私達の霊的な心臓、肺、内臓を守る胸当てでは、私達の義ではなく、私達のために生涯、一つも罪を犯されず、父なる神に従われ、十字架で私達の身代わりに死なれたキリストという義、その主を信じる信仰により与えられる義。

「あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました」（I コリント1：30）。

※悪魔がしつつこく責めて来る時の対処→「私がいただいたキリストの血、キリストの義が見えないのか！

私を救い、罪を赦され、共におられるお方をどなたと心得る（承知する）！ここにいますのは、完全な償い主、偉大な神のひとり子、キリストなのだ！私は自分の不完全な義ではなく、キリストの完全な義によって救われているのだ！誰が何と言おうとも、私の罪を正直に告白する時、神ご自身が主の十字架の血の完全な償いの故に私を赦しきよめて下さるのだ！→土台の御言葉：I ヨハネ1：9。私は不完全な自分の義ではなく、完全な主の義に抛り頼む！」と言おう。

「今や、私たちの神の救いと力と王国と、神のキリストの権威が現れた。私たちの兄弟たちの告発者（悪魔）、昼も夜も私たちの神の御前で訴える者が、投げ落とされたからである。兄弟たちは、子羊の血と、自分たちの証しのことば（御言葉を土台とした）のゆえに竜（悪魔）に打ち勝った」

（黙示録12：10，11）。

iii 義であるキリストとしっかり結びつく（礼拝、祈り、御言葉、主にある交わり）事により与えられる義、聖さを身に着けて歩む（テトス2：14）。

Ⅲ「足には平和の福音の備えをはきなさい」：15。戦う時、はく靴は大切。

①悪魔の喜ぶもの＝神に逆らう事、不和。混乱、無秩序。

②悪魔の嫌うもの＝神との平和。人々を救う福音。

「福音は…信じるすべての人に救いをもたらす神の力です」ローマ1：16。

③それ故に「平和の福音の備え」をはきたい。

「平和の」＝神との和解。心の平安。

「神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました」Ⅱコリント5：19。

「福音」＝原語：良い知らせ。福音。

「この福音によって救われます。…次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと」Ⅰコリント15：2-4。

「備え」＝原語：準備している事、用意の出来ている状態。準備、装備。

福音をしっかりと理解し保ち伝える備えをし、まず聴き手となり、関係作りをし、信頼を得、与えられた機会を逃さずに伝えていく。

悪魔は人々が救われる福音を最も嫌い、伝えるチャンスを邪魔するが、祈りつつ福音をしっかりと保ち備えをしておくと、悪魔より強い聖霊なる神は、福音を伝えさせて下さる。聴く人の心も不思議に開いて下さる。私は、この44年間、その神の奇蹟を経験して来ました。※3つの証し。

「話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話される、あなたがたの父の御霊です」

(マタイ10：20)。

「御霊に満たされなさい」エペソ5：18が、すべての鍵、土台、愛と聖さと力の源。

私達は、家族、知人、友人に素晴らしい福音を語る情熱を失う事がある。しかし、御聖霊は、滅び行く魂への情熱を再び与えて下さる。

※人間的な情熱＝相手に圧迫を与える。御聖霊による情熱＝相手の心動かす。

この2千年間、もし、クリスチャンが、誰も福音を伝えなかったら、私達には福音は届いていないのです！感謝したい。主が、私たちにも福音を伝える人を遣わして下さった恵みを。

「聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか」ローマ10：14。

私やあなたが伝えるべく主が出会わせて下さった人がいます。祈りつつ御聖霊の力で私達も福音を伝え、福音版、トラクトを渡し、また、福音が語られる礼拝、集会に祈りつつ人々をお誘いできますように。

結果は主に委ねつつ、御霊による情熱をいただいて福音を伝える者として下さい。

私達を命を懸けて救い、愛しておられる主の願いは、人々が福音を聞き、信じて救われる事です。

悪魔は、その度に敗北しています。私達も福音を伝える備えが出来ますように。

「私の心の願い、彼らのために神にささげる祈りは、彼らの救いです」ローマ10：1